

お帰りなさい70年前のピアノ

平成30年10月10日午前11時、小出小学校昇降口へ2トントラックが到着し、毛布に包まれたピアノが係員の手で慎重に降ろされ、昇降口から校長室へ運ばれました。三瓶校長先生の前で毛布が外され、新装なったピアノが現れました。



見た目は全く変わりません。でも天板と側板が外されるとそこには赤と黒の基盤に貼られた金色に輝く50本の弦が現れました。ピアピット社の渡邊社長が鍵盤にふれると深い音色が響き渡ります。待ち焦がれた音色です！…本当に戻ってきました。(鈴木 暹)



70年前に小出小学校に寄贈されたピアノの修理が完了し、平成30年10月10日、もとの校長室に戻ってきました。外側は古い懐かしいピアノ、蓋をあけると…なんと美しいんですよ。そして弾いてみました…とてもとても良い音色です。本当に喜んで戻ってきました。「修復費100万円寄金」に賛同し寄付を寄せられたすべての皆さまに感謝を込め、取り急ぎご報告させていただきます。本当にありがとうございます。
「ピアノは使ってこそ生きるもの。使い続けられ70年後100年後も良い音色を響かせますよ」と修理業者(ピアピット社)の渡邊さんが仰っていました。これからも永く弾き続け、将来の小出に残して行きたいと思っております。

平成30年10月吉日
お帰りなさい70年前のピアノ。
小出地区まちぢから協議会 会長 矢野 福徳
小出小学校150周年記念事業部会 部長 鈴木 暹

詳しくは3月頃、回覧にてお知らせする予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

「お披露目の会」を予定しています

～ みんなで喜びを分かち合ひましょう ～

日時：2019年5月6日(月・祝日) 13:30～15:00(予定)
場所：小出小学校体育館
内容：第1部：当時の関係者、修復関係者の方々のお話
第2部：小出小学校児童・北陽中学校生徒によるピアノ演奏

小出地区

まちぢから通信

Vol. 5

(平成31年1月1日)

発行：小出地区まちぢから協議会
http://c-machi.sakura.ne.jp/wp/koide/



～みんな来い・恋・ふるさと小出～

小出地区の「夢」を語る場として

～ 「小出地区市民集会」を開催 ～

本年の市民集会は初めての試みとして小出地区の「夢を語る場」として、未来を見据えた3つの問題につき討議する設定にいたしました。合わせてこれまでの活動の紹介も行いました。様々なご意見をいただきました。時間の制約もあり、各問題につき統一した解決法は打ち出せませんでした。いただいたご意見を吟味し今後のまちぢから協議会の活動に役立てたいと思っております。

日時：平成30年9月23日(日) 13:30～15:30
場所：小出地区コミュニティセンター 大会議室
出席者：行政側(服部前市長様他約15名)
小出地区住民約40名

議題：(0) 小出地区まちぢから協議会の取組紹介
(1) 買物難民と通院難民の解消
(2) 過疎地から活気あるまちづくりへ
(3) 災害に強い新都市開発(マスタープラン)

当日の議題の討議内容を、本通信の3ページ目に、「振り返り」として取りまとめて掲載しましたのでご覧ください。



初詣を兼ねて、いかがですか

回覧

小出七福神めぐり

のお誘いです

日にち：平成31年1月16日(水) (雨天中止)

定員：20名(申込12/20(木)より先着順)
集合場所：小出小学校 正面玄関付近
集合時間：9:50(出発前に簡単な体操をします)
持ち物：タオル、飲み物、昼食代(¥1000)：動きやすい服装でおいでください
行程：10:00 小出小学校スタート→①善谷寺(福祿寿)→②蓮妙寺(弁財天)→③来迎寺(恵比寿神)→④宝蔵寺(大黒天)→⑤白峰寺(寿老人)→12:00(予定) 武さし野にて昼食→⑥正覚院(布袋尊)→⑦妙伝寺(毘沙門天) 14:00(予定) ゴール・現地解散

小出小学校元教諭の神戸先生が同行します



主催：小出地区まちぢから協議会 社会福祉部会
申込：小出地区コミュニティセンター 電話0467-54-6525

小出七福神めぐりのお誘い

日時：平成31年1月16日(水) 9:50～14:00
場所：小出小学校集合スタートの約10kmコース
←(詳細は回覧チラシをご覧ください。)

「住民のつどい」のお知らせ

日時：平成31年2月10日(日) 13:30～15:30(予定)
場所：小出コミュニティセンター大会議室
(詳細は後日回覧にてお知らせします。)
昨年の様子：小出小学校児童による
↓ 「下寺尾官衙遺跡群の活用」発表





総合防災訓練にご参加ありがとうございました

(防災部会)

日時：平成 30 年 12 月 2 日 (日) 9:30~12:00
場所：小出小学校グラウンド、校舎 2F ランチルーム他

(情報伝達訓練の様子です)



厳しい冷え込みにも関わらず、お蔭様にて事務局把握で 365 名 (内一般参加者 306 名) という多数の方々の参加をいただき、無事に終了することができました。
今回の訓練結果を踏まえ、次年度以降も地域の防災体制のさらなる向上に努めていきたいと思いますので、今後ともご参加、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

防災部会 堀江朝昭

訓練終了後 199 件のアンケートが寄せられました。総合評価は「非常に良い」53 件、「良い」106 件、「普通」36 件、「良くなかった」4 件でした。自由記入欄のご感想・ご意見を含め Web サイト <http://c-machi.sakura.ne.jp/wp/koide/> にすべて掲載いたしましたのでご覧ください。いただいたご意見を次年度の参考にさせていただきます。

～ 人気の「地元の遺跡を学ぶ会」はあと 3 回です ～

(下寺尾遺跡部会)

実験で使用した石器を講師の加藤大二郎さんから説明してもらっています…。(H30.10.16)



全 9 回のうち今後の開催予定は以下の通りです。
* 場所：小出地区コミュニティセンター第 1 会議室 (人数により変更させていただく場合があります)
* 時間：すべて 19:00~20:00

	開催日	テーマ	概要
第 7 回	H31.1.8(火)	下寺尾官衙遺跡群 2	下寺尾官衙遺跡群の古代遺跡として発見されている内容をお話します。
第 8 回	H31.2.19(火)	遺跡と史跡	遺跡と史跡の仕組みについて概説し、全国に存在する様々な史跡を紹介いたします。
第 9 回	H31.3.12(火)	一年を通して	これまでの内容を振り返り、これからの学習活動を考えましょう。(例えば「事前学習+実地見学」など。)

「サンマまつり」を楽しみました

日時：平成 30 年 10 月 13 日 (土) 13:00~16:00
場所：小出コミュニティセンター駐車場

初の試み「サンマまつり」を楽しみました。少々肌寒い曇り空にもかかわらず、大勢の方々に来ていただきました。三陸町の生サンマに行列ができました。



体育祭を楽しみました

(体育振興部会)

日時：平成 30 年 10 月 7 日 (日) 9:00~15:00
場所：小出小学校グラウンド

スティックリレーは二人で息を合わせてフレー!



自治会対抗のリレーのスタート! トップは清水台と二本松でした。

総合一位は行谷と芹東でした。24 点の同点優勝です。青空の下、いい汗をかきました。

種目	清水台	下寺尾	堤上	細中	行谷	二本松	西三	三陸	合計
安全運転	3	5	7	4	6	1	7	7	40
関所破り	3	1	4	6	2	5	7	7	45
スランダー	6	5	7	4	3	1	7	7	48
町対抗リレー	6	7	7	5	3	1	7	7	53
合計	18	18	21	16	12	6	28	28	148

平成 30 年度 小出地区市民集会 (平成 30 年 9 月 23 日) の振り返り

「夢を語る場」とした今回の市民集会につき、良かった点、改善点/今後の方向などについてとりまとめました。

主な内容	良かった点	改善が必要な点/今後の方向
(0) 小出地区まちぢから協議会の取組み紹介	・参加者に組織の活動内容を説明できた。 ・定期に実施すべき。 ・市職員(市長ほか幹部)に活動を知っていただく良い機会であり資料であった。	・説明時間はもっと短く(40分→20分以内)すべき。要点のみで資料は別途配布でも良いのではないかな。
(1) 買い物難民と通院難民の解消	・予約型乗合バスの利用促進をアピールできて良かった。 ・参加者から具体的・貴重な意見を聞くことができた。	・今後も具体的で無理のない乗合バスの活用方法を、広く伝える工夫が必要。 ・地域(自治会)別の情報を集約し、市行政と協議していけば効力が高いのでは。 ・循環バスルート、予約型バスの乗合所の位置を現在の利用者ニーズに応じて改善すべき。合わせて運用側への改善要望を今後も継続する。
(2) 過疎地から活気あるまちづくりへ	・活気あるまちづくりの必要性をアピールできた。 ・地域の特性を数値で示すことで分かりやすくアピールできた。	・調整区域の市街化の提案は住民の多数にとっては唐突であった。 ・事前の説明や地元住民からの意見収集が今後の課題。
(3) 災害に強い小出新都心開発	・災害発生時、特に津波の危険がある時は海岸方面の方々が小出地区に避難してくることを皆で共有することができた。受け入れをどうするか真剣に考えるきっかけになった。 ・計画道路の必要性をアピールできた。 ・河川増水に対しても意見交換ができた。	・災害対策及び地域活性化のために計画道路は重要なポイントであるが、安全面の考慮や他市町村との関連でもっと広域に考えて構想を立てるべきである。 ・災害発生で小出小学校が避難所になった時にトイレが使用できない等の問題の検討。

集会に参加された方より後日感想と提案の文書をいただき、その中で「…小出地区が茅ヶ崎市に併合されたときも全住民の意向が一致していたのではないようですが、60 年を経て、住民の意見は、居住地区、職業、仕事の場所、年齢、地域への帰属意識等において、益々多様化している…」と分析され、そのような状況で、まちぢから協議会としては「…住民の考えを十分に聴取し、集約できる意見は集約し、できない意見は整理して併記するような作業をされ、それとともに、地区の人口構成、住民の行動様式、産業動向等に関するデータに基づく予測をもとに(市とも協議され)…」今後の活動を進めてほしい旨の提案がありました。今後の方向を示す貴重なご意見をありがとうございました。この小出地区が「住んで良かった」と思えるまちになるよう、みなさん一緒に頑張りましょう!